

2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年4月12日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 中谷 元明 (TEL) 03-6890-4800
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 2024年5月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	38,018	10.0	2,563	69.9	2,598	72.7	1,556	101.4
2023年8月期第2四半期	34,556	5.7	1,509	△20.7	1,505	△30.7	772	△34.0

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 1,398百万円(203.7%) 2023年8月期第2四半期 460百万円(△64.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	66.69	63.58
2023年8月期第2四半期	33.11	29.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	46,485	22,650	48.7
2023年8月期	44,863	21,779	48.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 22,650百万円 2023年8月期 21,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	13.00	—	25.00	38.00
2024年8月期	—	20.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,638	8.7	5,500	13.5	5,450	45.8	2,900	64.6	124.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期2Q	23,980,000株	2023年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	639,930株	2023年8月期	639,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年8月期2Q	23,340,091株	2023年8月期2Q	23,340,159株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託 (J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年4月12日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年9月1日～2024年2月29日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症が収束し、社会経済活動が正常化する中、インバウンド需要は回復しているものの、原材料の高騰や為替の影響に伴う物価上昇が続いており、個人消費の持ち直しの動きに足踏みが見受けられました。世界経済においては、原油や原材料の価格高騰による世界的なインフレや政策的な金融引き締め等による景気への影響が継続する中、中国では不動産市場の低迷や若年層の失業率上昇等による成長率の鈍化が見受けられ、更なる景気の下振れリスクの高まりが懸念されております。

国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、発生以前の水準へ回復の傾向が見受けられました。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げているイノベーティブなプロダクト開発の強化及び店舗展開の推進などの取り組みを進めておりました。商品開発につきましては、お客様の利用シーンに応じた商品の開発に取り組み、睡眠の環境を整える「JINS SCREEN FOR SLEEP」や自宅での使用を提案した「JINS HOME」等、新たな商品価値を提供するとともに、引き続き「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めておりました。店舗戦略につきましては、市場環境に応じてお客様の利便性の高い立地への出店を推進しており、国内においては、郊外ロードサイドや小型のショッピングモールなどを中心に出店を進めました。また、海外においては、新たな購買体験ができる店舗の検討等に取り組んでおりました。

店舗展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は、国内483店舗、海外249店舗(中国176店舗、台湾60店舗、香港9店舗、米国4店舗)の合計732店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、国内及び海外の新規出店の効果もあり38,018百万円(前年同期比10.0%増)となりました。営業利益は2,563百万円(前年同期比69.9%増)、経常利益は2,598百万円(前年同期比72.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,556百万円(前年同期比101.4%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	28,938百万円	76.1%	10.3%
海外アイウェア事業	9,079百万円	23.9%	9.3%
合計	38,018百万円	100.0%	10.0%

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、前期に引き続き店頭でのお客様一人ひとりへの接客を強化し、世界最高水準屈折率の両面非球面レンズ「JINS極薄レンズ」をはじめとしたオプションレンズの装着率が上昇したほか、自宅での使用を提案した、快適でストレスフリーなかけ心地と日常を自分らしく楽しめるデザイン性を兼ね備えた“おうち時間に着替えるメガネ”「JINS HOME」や、ディズニー100をテーマにした「Disney100 アイウェアコレクション by JINS」等が売上を牽引しました。また、JINSアプリの会員数が2024年2月末現在で約1,434万人となりました。

店舗展開につきましては、国内店舗数は483店舗（出店12店舗、退店2店舗）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高28,938百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益2,406百万円（前年同期比62.9%増）となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、新型コロナウイルス感染症の影響は収束したものの、不動産市場の低迷や若年層の失業率上昇等による消費の低迷が続いており、当社の業績への影響がありました。

台湾においては、引き続きオプションとして取り揃えている日本製レンズが好評を博していること等により業績は順調に推移しました。

香港においては、新店により売上高は伸長しているものの、中国と同様に景気停滞の影響が見受けられ、業績は想定よりも下回りました。

米国においては、EC事業を中心とした事業規模の拡大を目指した事業構造改革を進めておりますが、既存店の売上高も好調に推移しました。

店舗展開につきましては、中国176店舗（出店7店舗、退店3店舗）、台湾60店舗（出店5店舗、退店なし）、香港9店舗（出店、退店なし）、米国4店舗（出店、退店なし）の合計249店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高9,079百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益157百万円（前年同期比388.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2023年8月期末 (2023年8月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (2024年2月29日)	増減	増減率(%)
総資産	44,863	46,485	1,621	3.6
負債	23,083	23,834	750	3.3
純資産	21,779	22,650	871	4.0

(イ)資産

流動資産は、25,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,390百万円増加いたしました。

これは主に、売掛金が289百万円減少したものの、現金及び預金が1,000百万円、商品及び製品が923百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、21,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が249百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、46,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,621百万円増加いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、21,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,726百万円増加いたしました。

これは主に、償還期限が1年以内となった転換社債型新株予約権付社債を固定負債より10,010百万円振り替えたこと、及び買掛金が1,158百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、1,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,976百万円減少いたしました。

これは主に、償還期限が1年以内となった転換社債型新株予約権付社債を流動負債に10,010百万円振り替えたことによるものであります。

以上により、負債合計は、23,834百万円となり、前連結会計年度末に比べ750百万円増加いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、22,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ871百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより583百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,556百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期通期の業績予想につきましては、本日(2024年4月12日)発表いたしました「2024年8月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,202	13,203
売掛金	5,059	4,770
商品及び製品	4,107	5,030
仕掛品	—	19
原材料及び貯蔵品	474	538
その他	1,912	1,586
流動資産合計	23,757	25,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,022	9,527
その他(純額)	2,099	1,844
有形固定資産合計	11,122	11,371
無形固定資産		
投資その他の資産	1,991	2,087
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,101	4,152
その他	3,890	3,724
投資その他の資産合計	7,991	7,876
固定資産合計	21,105	21,336
資産合計	44,863	46,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,745	2,904
1年内償還予定の 転換社債型新株予約権付社債	—	10,010
短期借入金	1,887	1,631
1年内返済予定の長期借入金	33	31
未払金及び未払費用	4,986	4,748
未払法人税等	793	966
賞与引当金	85	226
商品保証引当金	190	186
その他	1,547	1,292
流動負債合計	11,270	21,997
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,015	—
長期借入金	11	28
資産除去債務	1,070	1,104
その他	716	704
固定負債合計	11,813	1,837
負債合計	23,083	23,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,228	3,201
利益剰余金	20,081	20,175
自己株式	△5,003	△4,040
株主資本合計	21,509	22,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	56
為替換算調整勘定	175	54
その他の包括利益累計額合計	269	111
純資産合計	21,779	22,650
負債純資産合計	44,863	46,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年2月29日)
売上高	34,556	38,018
売上原価	7,599	8,394
売上総利益	26,957	29,623
販売費及び一般管理費	25,448	27,059
営業利益	1,509	2,563
営業外収益		
受取利息	42	8
為替差益	—	86
補助金収入	180	0
事業構造改革費用引当金戻入益	61	—
その他	35	35
営業外収益合計	320	130
営業外費用		
支払利息	71	64
持分法による投資損失	53	18
不動産賃貸費用	98	—
為替差損	50	—
その他	50	13
営業外費用合計	324	95
経常利益	1,505	2,598
特別損失		
固定資産除却損	47	65
店舗閉鎖損失	16	10
店舗臨時休業による損失	74	—
特別損失合計	139	76
税金等調整前四半期純利益	1,365	2,522
法人税、住民税及び事業税	622	811
法人税等調整額	△29	154
法人税等合計	592	965
四半期純利益	772	1,556
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	772	1,556

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	772	1,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△36
為替換算調整勘定	△248	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△103
その他の包括利益合計	△312	△157
四半期包括利益	460	1,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	460	1,398
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	26,247	8,309	34,556	—	34,556
外部顧客への売上高	26,247	8,309	34,556	—	34,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	344	5	349	△349	—
計	26,591	8,314	34,906	△349	34,556
セグメント利益	1,476	32	1,509	—	1,509

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	28,938	9,079	38,018	—	38,018
外部顧客への売上高	28,938	9,079	38,018	—	38,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	442	5	447	△447	—
計	29,380	9,085	38,466	△447	38,018
セグメント利益	2,406	157	2,563	—	2,563

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。